

# 自動運転トラックの機会と用途の見通し（～2040年）

## 【概要】

本調査では、世界の自動運転トラックの機会と用途の見通しについてまとめています。具体的には、トラックの各輸送形態における自動運転技術の普及状況、自動運転レベル別の普及率、業界の主要企業、エコシステム、自動運転トラックの開発動向と準備レベル、法規制が自動運転トラックに与える影響、地域全体で自動運転車両の試験と実装を実施するための条件、自動運転エコシステムにおける合併/買収/投資の状況と主要企業などが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2040年までです。

## 【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

自動運転トラック技術の概況

- 自動運転トラック機能の全体像
- ADAS機能：用途との関連性
- 商用車における自動運転の主な課題
- トラックにおける自動運転技術の影響
- 自動運転が業界のステークホルダーに与える影響
- 自動運転トラック市場におけるCOVID-19の影響
- COVID-19シナリオにおけるADAS市場評価

2019年、2030年、および2040年における自動運転トラック技術の用途

- 物流：製造から販売まで
- 港湾：船から発送まで
- 廃棄物：収集から廃棄まで
- 自動運転トラックの実装ロードマップ：ユースケース別
- 中型商用車のADASレベル1およびレベル2の実装予測：EU

- 大型商用車のADASレベル1およびレベル2の実装予測：EU
- 中型商用車のADASレベル1およびレベル2の実装予測：北米
- 大型商用車のADASレベル1およびレベル2の実装予測：北米
- 大型トラックの自動化の進捗状況
- 自動運転トラックの市場価値：増分装備コストの予測
- 自動運転トラックのテレオペレーション
- 貨物輸送ハブ：長距離自動運転トラック向け
- トラックの隊列走行の利点と課題
- 隊列走行：フェーズI、II、III

自動運転トラック輸送の重要な要素：技術、投資、インフラ

- 追加のインフラ開発：進行中のフィールドプロジェクト
- 自動運転トラック操縦向けV2X技術の進化
- 主要OEMの自動運転関連製品パイプライン計画
- 自動運転関連製品ロードマップ
- 注目の自動運転関連企業
- 業界における戦略的パートナーシップ
- 自動運転トラックエコシステム
- エコシステム参加企業のバリューマップ
- 自動運転トラックを構成する要素
- 自動運転トラック技術のロードマップ：ハードウェア
- 自動運転トラック技術のロードマップ：ソフトウェア
- 今後の車両開発のためのプラットフォームベースのアプローチ
- 技術の進化：レーダーモジュール

- 技術の進化：LiDARモジュール
- 技術の進化：フォワードカメラモジュール
- 自動運転レベル別のセンサフュージョンの役割
- 自動運転とセンサのレベル

完全自動運転車両：進歩の見通し

- 自動運転車両の検証と試験
- 北米における自動運転車両の試験と実装に関する法律
- 米国における自動運転車両関連の法制化の取組み
- EU加盟国における自動運転商用車の試験に対する取組み
- 規制概況：北米および欧州
- 実証実験：主要OEM
- 実証実験：主要スタートアップ
- 当局の取組みと研究プロジェクト

2030年の貨物モデル予測：レベル4の自動運転車両

- レベル4の自動運転車両の予測：一般貨物
- レベル4の自動運転トラックの普及率：セグメント別
- 年間運送コストの予測：一般貨物

成長機会

結論

付録